

1月の一枚

H30年 西東京三田会
誌上作品紹介

【明日への一步】(檜木彫)



タイトル名は単純に歩き始めという意味ではありません。

指から出ている双葉に象徴される息吹・生命力を持ち未来へ向けて生きようとする決意のあゆみです。以前は森の妖精たちを生み出してきましたが最近「生きること」のタイトルでシリーズ作品を創作しています。

檜の一木彫りです。いつも制作にあたってはアイデアデッサンを必ずしますが、頭に浮かべた形を頼りに木の中に始めから埋もれていた生命を求め余分なゴミを取り除くように彫進めます。これを作ってやろうといった気負った気持ではなく化石や土器の発掘のような謙虚さを持って進めます。



吉川 潔
S46年経済学部
小平三田会

【西東京三田会写真・作品倶楽部】昨年は11月22日(水)~26日(日)柳沢公民館ロビーをお借りして展覧会を開催致しました H29年度の出品作品を12月から次回開催の10月まで順次会員や招待者の誌上作品展覧会を行っていますので楽しみください。H30年巻頭の一枚は、H29年秋美術公募展「東京展」で『生きること』が東京展賞を受賞され【三田評論12月号】の8~9頁掲載 特集記事【人形・造形作家の道を歩んで】に掲載された 吉川 潔 君の作品を取り上げました。高校生の頃からの曲折を経ながら半世紀ひたすら木彫、彫像、人形作品を追及されました。何かお気づきのコメントございましたら下記アドレスまでご連絡をお待ちいたしております。

【西東京三田会写真・作品倶楽部】 問い合わせ先 事務局 大平 一 yakimono_1@jcom.home.ne.jp